

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報 [号外] 2009年7月22日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 【No.32】

坂入事件」でJR関係の革マル派氏名が次々出現！

坂入氏を拉致・監禁したとして革マル派を告発したJR総連は、告発状に、「浅野」「木下」「小西」「神保」など事件に関与する革マル派メンバーの氏名を明らかにした。名刺を渡すはずもなかりに、なぜ、JR総連は革マル派活動家の顔と名前がすぐに分かるのか。

宗形明著「もう一つの『未完の国鉄改革』」(高木書房)によると、「浅野」は田町電車区出身で「真国労」の初代副委員長であった人物、「小西」は鳥栖機関区出身の元動労の革マル派九州政治局員(妻は九州労書記)、「神保」は動労中央本部役員の地位に長期間あった新鶴見機関区出身の人物らしく、いずれもJR総連につながる動労や真国労に深く関わる者ばかり。この3人は10月9日に九州労本部(JR総連)に乱入し、「九州労破壊を行っているのはお前らだ」「俺たちがつくった九州労を壊されて黙ってられるか」などと罵声、暴言を繰り返したという(九州労「組織部報」223号)。なお「木下」とは、「西条武夫」なるセクトネームを持ち、「党革マル派大幹部として五指の内に入る地位にあった模様」とされる人物らしい(宗形明著「JR東日本労政『20年目の検証』」)。JR総連の周辺には、奇怪な事件を巡って、次々と革マル派の面々が出現してくる。およそまともな組合ではない。

坂入氏はJR総連告発状での革マル派活動家の暴露を非難！

「九州労大量脱退事件」を首謀したとして自己批判した坂入氏は、「私を利用し、革マル派を権力に売り渡すJR総連の一部指導者を弾劾する！」との声明(「解放」1649号、2000年12月18日)で、次のように述べている。

- (前略)小田君は、坂入が拉致・監禁されていないなら、私達の前に出てこい」と言っているらしいが、頭を冷やしてよく考えて見てほしい。私は「反権力・反弹圧」を自認するR労研の中央事務局局長であり、やせてもかかれても革共同革マル派の一員として闘ってきた人間なのだ。早く家に帰れ」と言うが、公安デカが手くすねひいて待ちかまえ、事情聴取」と称してそれこそ「拉致」されることばかり知っているところへ、どうしてのこのこ「帰れ」というのだ。諸君らは、私をも権力に売るつもりなのか。反権力の党の黨員として重要な党内論議をやる場合に、権力の弾圧と介入を許さないために、一定の防衛上の配慮をするのは当然のことだ。- (中略)皆さんは「告発状」それ自体を読んだことがあるのだろうか。実際大変なことが書かれているのである。まず文中に固有名詞がずらりと出てくる。A、J、KおよびK夫人、国鉄時代から組合に若干でも関わっていた人ならずく思い出すはずである。国鉄労働者としてともにスクラムを組んで闘った仲間だからである。昔の革マル派系全学連書記長の名前も出てくる。当然、警察権力は「告発状」を手にとれたらこれらの人たちの逮捕を考えるはずである。いや現に、A、Kは権力の監視下におかれているのだ。たとえ今対立があったとしても、実名を伏せるぐらいの配慮は出来ないものなのか。まったく常軌を逸しているとか言いようがない。- (後略)

Aは「浅野」、Jは「神保」、Kは「小西」であることはすぐにわかる。この声明を、坂入氏の意志で述べたにせよ、革マル派の強要で述べさせられたにせよ、JR総連と革マル派とが入り乱れ、きわめて深い関係にあることは、誰がみても明らかだ。仮に「対立」があったにしても、革マル派内での対立であったことがさらに浮き彫りになってきた！